ひよこだより

第１１号

H25.2.8（金）

２月に入り、日中は暖かな日差しの日が多くなってきました。ひよこ組の子どもたちは大きなガラス窓から入る太陽の日差しをいっぱいに浴びながら、暖かい畳の上で好きなおもちゃで遊んだり保育士と触れ合ったりして遊んでいます。

最近は子どもたち同士でも、笑い合ったり、お友だちに“おいで”と手を広げて呼んでみたり、子ども同士で関わっていることが多くなってきたなと感じます。月齢の幅が広いひよこ組の子どもたちですが、月齢の高い子どもが月齢の低い子どもによしよしをしたり、「すきすき」と頬をすり寄せることもあります。お友だちへの興味が高まっている姿に成長を感じ、嬉しく思います。お友だちと一緒に遊ぶことの楽しさをもっともっと知ってほしいなと思いながら毎日を過ごしています。

小麦粉粘土で遊んだよ！

１月はもちつきがありました。ひよこ組はもちつきには参加していませんが、つき立てのおもちのような、やわらかい感触の小麦粉粘土で遊んでみました。

お友だちが触っているのを見ている子ども、指でちょんちょんとつついてみたり、びよーんとひっぱってみたり、手に持って握ってみたり。保育士の真似をしてテーブルと手のひらでこねている子どももいました。初めて触れる小麦粉粘土にびっくりして触りたくなかった子どもたちも、２回目に遊んでみると“なんだろう？”と興味が湧いたようで触ることができました！

保育士が季節のうたを歌ったり、童謡を歌ったりすると、一緒に歌っている子どもたちです。例えば「まめまき」の「♪～ぱらぱらぱらぱら豆の音」は「ぱ、ぱ、ぱ、ぱ～と～」という調子で歌ってくれたり、まだ発語が少ない子どもも手を叩いたり首を振ったりして音楽を体で表現しています。

お知らせ…

２月１６日（土）には保育参観を予定しております。普段なかなか見られない保育の場で子どもたちとゆっくりとした時間を過ごしていただけたらと思っています。どうぞご参加ください。

０歳児担任保育士　古野

スミレぐみだより No.11

H、25、 2月 8日（金）

立春を過ぎても、ピンと冷え込んだ空気の中、園庭の木々の枝には小さいけれどたくさんの芽がついています。大きくふくらんで花や葉になる春が待ち遠しいです。

2階の広いテラスに出てみました。外へ出たかった子どもたちは、あちらこちらを走ったり、花壇の草をつまんだり、寒さなんか吹き飛ばすような好奇心の芽（目）がいっぱいです。春よ来い！早く来い！ですね

☆保育参観、一緒に遊びましょう！

スミレ組は、16日（土）10時より、保育参観です。お家の方々とご一緒に子どもたちのいつもの生活を共に体験していただいたり、小麦粉粘土を作って遊んだりする予定です。走ったり、たどたどしいけれど言葉で自分の思いを伝えようとしたり、自分でいろいろなことをしてみようとしたり、意欲的な子どもたちの成長を見ていただければと思います。

☆絵本大好き！「あそびましょう」

動物と子どもが一緒に遊びます。

へびさんとは縄跳びをします。

※この本は保育園の本棚にあります。

☆手遊び歌を紹介します。

♪ごんべさんの赤ちゃん♪…1 番は全パート歌い、
2 番目は「風邪ひいた」を歌わずに動作だけ、
3 番目は「赤ちゃんが風邪ひいた」を歌いません。
黙って動作だけする面白さが子どもたちにもわかります。

ごんべさんの赤ちゃんが　風邪ひいた　　そこであわてて　湿布した

☆おむつからパンツへ

パンツに移行できる子どもたちが増えてきました。キャラクターやハートがついたかわいいパンツを見せて「このパンツ、おきーい（お気に入り）よ」と言います。新しいパンツを購入される時は、トレーニングパンツではなく、普通のパンツをご用意してください。おしっこがもれて、ぬれる気持ち悪さと乾いたパンツの気持ちよさの違いがわかり、自分からトイレに行こうとする気持ちになってくれるのが楽しみです。

（福岡）

ちゅうりぷたより

平成２５年2月8日

～鬼のおもちゃ作り～

豆まきに向けて、みんなで段ボールの鬼のおもちゃを作りました。赤やピンクの画用紙をちぎって貼りました。「みんなで鬼を作るね。」「どんな鬼が出来るかな」とお友達とお話しながら作っている姿を見ることが出来ました。また、段ボールが見えていたら「あっ！ここ貼らなくちゃね。〇〇ちゃん一緒に貼ろう。」と誘って貼っていました。出来あがった鬼を２月１日の豆まきの日に登場させると新聞のボールを投げ入れるよりも鬼の周りを回りながらジッーと眺めては、「みんなで作った鬼だね。」「可愛い鬼さんになったね。」感想を言っていました。鬼の口の中に新聞ボールを投げ入れられるようにしていたのですが、子どもたちは投げずに、優しく口の中に入れていました。時々抱きしめてみたりと、みんなで作った鬼のおもちゃを大切にしている姿が見られました。

～凧揚げ～

先月号で書いた凧を作りました。画用紙に好きな絵を描いて凧を作るようにすると、カエルやプリキュア凧、怪獣凧が出来あがりました。まだまだ、なぐり描きが多いですが、丸や三角等を描いて、中に目らしきものを描き顔にしたりしていました。出来あがった凧は、園庭であげました。子どもたちが作った凧は元気に空に上がっていました。

～楽しい粘土遊び～

ままごと遊びが大好きな子どもたちは、お母さん・お父さん役はもちろん、ケーキ屋さんになったりキャンディ屋さんになったりもしています。ある日子どもたちに、「ケーキやキャンディを作ってみようよ。」と声をかけると「作りたーい。先生粘土で作ろうよ。」と声が聞こえました。子どもたちは、粘土遊びが大好きで、粘土でパンやヘビ、指輪等、いろいろ作っています。今回は、ケーキとキャンディーを作るということで、絵具を用意して好きな色を２色選び粘土と一緒にこねました。こねると、きれいな色のキャンディが出来ていました。子どもたちは「早く遊びたいね。これで、キャンディ屋さんごっこをしようよ。」と乾くのを楽しみにしています。

２歳児　担任　相部沙織

第１１号

こすもすだより

平成25年2月8日(金)

☆おにはそとー♪ふくはうちー♪☆

２月１日に豆まきをしました。豆まきの２日前、ひまわり組とたんぽぽ組に鬼のもじゃまるさんから手紙が届き、"１日に保育園に遊びに来る"ということを聞いた子どもたち。「え…保育園に鬼が来るの…？」と少し不安そうな表情を見せる子もいれば、「よーし！豆を投げて、やっつけよう！」と意気込んでいる子もいました。

そして、当日、ひまわり組、たんぽぽ組のお友だちと遊戯室で豆まきごっこをしていると、もじゃまるさんとその友だちのぴかりんさんが登場しました。鬼の迫力に圧倒され、泣いてしまったお友だちもいましたが、「おにはーそと！ふくはーうち！」と言いながら、思いっきり豆を投げ続け、なんとか無事に鬼をやっつけることができました。

鬼がいなくなって、ほっとしていると、次は福の神さんがやってきて、春の訪れを知らせると共に梅の花を持ってきてくれました。その時は、まだ蕾だった花が日ごとに開いていくのを見て、「先生！梅の花がまた咲いてる！」と嬉しそうに知らせてくれたり、「ポアンポアンポアンポアン♪」と梅の花のうたを口ずさんだりして、日々の変化を楽しみにしている様子が見られます。

今年１年間、子どもたちが怪我や病気をすることなく、元気に過ごせるよう、私たち保育士も心から願っています。

☆絵の具って不思議だね！☆

鬼のお面の製作で、絵の具を使いました。子どもたち一人一人に何色の鬼を作りたいか聞き、子どもたちの目の前で絵の具や水を混ぜ合わせ、その色を作っていきました。

水色やピンク、むらさき、オレンジ色を作る時には、「この色に何色を混ぜたら、○○色ができるかな？」と子どもたちに尋ねて、子どもたちから返ってきた色と混ぜ合わせてみました。色を混ぜて、だんだん色が変わってくると、「わー！先生、魔法使いみたい！」「すごーい！マジックみたいね！」と、子どもたちの目はパレットに釘付けで、拍手をする子もいました。

その経験を通して、色と色を混ぜ合わせると、別の色ができるということを知った子どもたちは、最近、自由画帳にお絵描きをする時に、クレヨンを重ね塗りして水色やピンクを作ってみたり、茶色に白を混ぜるとどんな色ができるかなど、自分なりに色を作ってみたりしていますよ。

☆保育参観について☆

２月２３日（土）に３歳以上児クラスの保育参観があります。お子様の保育園での様子をぜひ見ていただけたら、と思っています。時間等につきましては、また後日お知らせ致します。

3歳児担任　嶋津　由佳

第 11 号

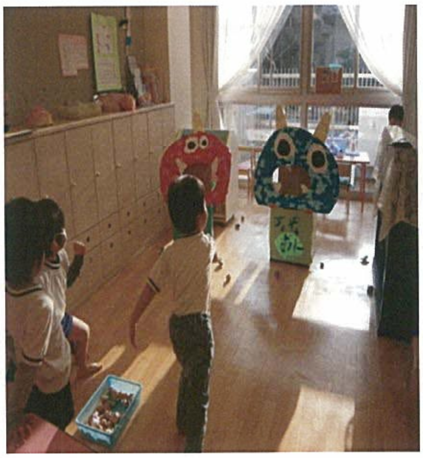
ひまわりだより

平成 25 年　2 月　8 日（金）発行

立春をむかえ、ようやく春の暖かさが間近に迫ってきたように思います。冬の寒さの日や春らしい暖かさの波をぬって季節が春へとむかっていることを感じさせられます。園庭のさくらんぼの木の枝先に小さな芽を見つけた子どもたちと冬の寒さの中、おひさまや、土から栄養をもらい、春には綺麗な花を咲かせてくれることを話しながら春を待っています。

≪おには～そとっ！ふくは～うちっ！≫

節分にむけて、みんなで一緒に段ボールで大きな鬼を作りました。「赤の鬼はつのを一本にしない?」「いいね～！」などと、意見を出し合いながら協力して作る、力強いたくましい鬼ができあがりました。



子ども達に「心の中にどんな鬼がいるかな?」と聞いてみると、「弱い鬼！」「話を聞かない鬼！」「泣き虫鬼！」といろいろな鬼が挙がりました。豆まきで子どもたちは、それぞれ自分の心の中の鬼をやっつけることができたことでしょうね。

≪保育参観があります≫

今月の 23 日（土）に保育参観があります。4 月の頃に比べると、子ども達の言葉や表情、友だちとの関わりに成長の変化を感じ一段とたくましくなった子ども達の姿を見ていただけるのはないかと楽しみにしております。

4 歳児　　中村　友美　　有田　洋子

第１１号

たんぽぽだより

H25．2．8（金）発行

登園すると、子どもたちが植えたちゅうりっぷの様子を見ている子どもたち。気温が低い日が多く、「ちゅうりっぷの芽、なかなか出てこないね。」「寒いからまだ出てきたくないんかもよ。」と心配していたのですが、あたたかい日が続き、１つ２つ…とちゅうりっぷの芽が土から顔を出していました。「あ！芽が出たよ。」「あったかかったもんねぇ。」と、春の訪れを感じている子どもたちです。

泣かないでね！やさしいオニだよ。

2月1日に豆まきをしました。“赤ちゃんたちのところに大きなオニが来たら、こわくて泣いてしまうかもしれないよ。”“じゃあ僕たちがオニになって赤ちゃんたちも元気で過ごせるように豆をまこう”“もし泣いたらお面をとって顔を見せたほうがいいよね”と、子どもたちで話していました。小さな子を思いやるやさしい気持ちを感じ、うれしく思いました。

ドキドキわくわく　ひらがなオリエンテーション

２月６日に槻田小学校に行きました。５年１組のお兄さんお姉さんとひらがなの勉強をしたり、あやとりや折り紙をして遊んだりしました。初めは、緊張していた子どもたちですが、帰る頃には「もう、帰るの？」「まだ、遊びたかった。」と名残惜しそうでした。小学校に入学することがさらに楽しみになったようです。

保育参観のお知らせ

☆２月２３日（土）に保育参観があります。みんなで劇場（ごっこ）にご招待したいということで、子どもたちは考えているところです。どんな素晴らしい劇場になるか楽しみにしていてください。

５歳児　　藤田　寛子